

防災 ハザードマップ

保存版

2022年3月

みんなで「万が一」から命を守るための一冊

WEB 版ハザードマップ

二次元バーコード読み取り機能付きスマートフォン、タブレットをお持ちの方は、右の二次元バーコードを読み取ると WEB 版ハザードマップサイトにアクセスできます。いざという時、外出時などにすぐ確認できるよう、ブックマーク登録しておきましょう。
※GPS 機能を利用すれば、現在位置の地図が表示されます。(一部機種を除く)
※URL はこちら : <https://bousaibetsukai.jp> (PC でも閲覧可能です)



災害用伝言サービス | 安否情報などを家族や知人に知らせる方法を家族で確認しておきましょう

災害用伝言ダイヤル

171

大規模な災害が発生し、安否確認等の電話によって電話回線が混雑し、電話が繋がりにくい状況でも、伝言の録音・再生により、被災地内の家族や親戚・知人等と連絡を可能にする「声の伝言板」です。

携帯電話災害用伝言板サービス

大規模な災害が発生した場合、携帯電話各社のトップに「災害用伝言板」が追加され、自らの安否状態を登録することが可能になり、登録された伝言は、インターネットや携帯電話などから確認することができます。

※使用にあたっては、各携帯電話会社のホームページで確認しておきましょう。



※詳しい内容はNTTのホームページで確認してください。 [ホームページ](https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/) <https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>

はじめに

町民の皆様へ

自然災害による被害を最小限に抑えるためには、一人ひとりが自分の命は自分で守る「自助」、みんなが協力して地域を守る「共助」、役場や消防、警察等の支援である「公助」の連携が必要であると言われています。

災害に立ち向かうためには、家族や地域で「食糧や資機材を備蓄する」、「自分の家の安全対策をしておく」、「地域の危険箇所を知る」、「災害時の連絡方法や避難方法について話し合う」など、日ごろからの「備え」と「心構え」が必要です。

「別海町防災ハザードマップ」には、津波や洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域、町指定避難所等の災害時に避難を判断する際に必要な情報を掲載しています。

「別海町防災ハザードマップ」を身近な場所に保管していただき、家庭や地域といった身のまわりでどのような災害の危険が及ぶのかを考え、被害をできるだけ少なくするために、防災・減災について考える際の参考にしてください。

索引 Index

| | | | |
|-----------------|----|-----------------------|--------|
| ○はじめに・町民の皆様へ | P1 | 洪水ハザードマップ・防災避難所マップ全体図 | P7・8 |
| ○警戒レベルを用いた避難情報 | P2 | 洪水土砂ハザードマップ・防災避難所マップ | P9~12 |
| ○防災気象情報・避難行動ガイド | P3 | ○地震対策について | P13 |
| ○防災情報の伝達と入手 | P4 | ○津波対策について | P14 |
| ○洪水・浸水害について | P5 | 津波ハザードマップ | P15~18 |
| ○土砂災害について | P6 | 指定避難所・指定緊急避難場所一覧 | P17~18 |
| | | ○備蓄品および非常持ち出し品 | 裏表紙 |



！警戒レベルを用いた避難情報

警戒レベルについて 警戒レベルは、水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために5段階にレベル分けしたもので、市区町村が避難情報と合わせて出す情報です。

| 避難情報等 (警戒レベル) | | | 河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報) | |
|--------------------------------|--------------|---|-----------------------|-------------------------|
| 警戒レベル | 状況 | 住民がとるべき行動 | 防災気象情報 (警戒レベル相当情報) | |
| | | | 浸水の情報 (河川) | 土砂災害の情報 (雨) |
| 5 | 災害発生又は切迫 | 命の危険 直ちに安全確保! ・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 ・警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはけません! ・ただし、警戒レベル5は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。 | 5相当 | 氾濫発生情報 大雨特別警戒 (土砂災害) |
| ~~~~~ < 警戒レベル4までに必ず避難! > ~~~~~ | | | | |
| 4 | 災害のおそれ高い | 危険な場所から全員避難 ・警戒レベル4避難指示は、立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令される情報で、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。 | 4相当 | 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 |
| 3 | 災害のおそれあり | 危険な場所から高齢者等は避難 ・「高齢者等」は障害のある人や避難を支援する者も含んでいます。 ・さらに、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミングです。 | 3相当 | 氾濫警戒情報 洪水警戒 大雨警戒 |
| 2 | 気象状況悪化 | 自らの避難行動を確認 | 2相当 | 氾濫注意情報 |
| 1 | 今後気象状況悪化のおそれ | 災害への心構えを高める | 1相当 | |

※市区町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

避難指示等が発令されたら速やかに避難行動をとる必要がありますが、突発的な災害では、発令が間に合わないこともあります。避難指示等が発令されていなくても、警戒レベルに相当する気象情報を認識し、危険を感じたら早めに避難行動をとってください。大切なことは「自分で判断する」ということです。

警戒レベル5はすでに災害が発生・切迫している状況です。また、必ず発令されるものではありません。

警戒レベル3 高齢者等避難や警戒レベル4 避難指示で、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。



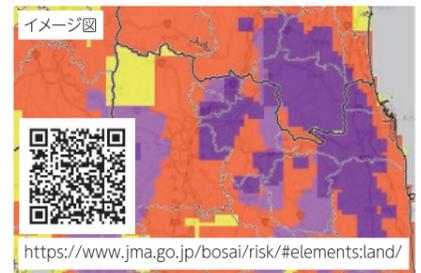
(ページ内の図表は内閣府・気象庁ホームページより抜粋、編集)

i 防災気象情報

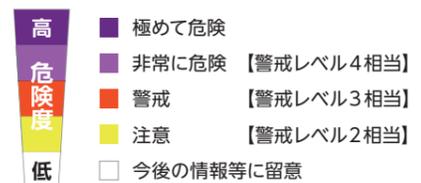
キキクル(危険度分布)について

どこで土砂災害や浸水害、洪水災害の危険度が高まっているかを知ることができる、命を守るための情報です。

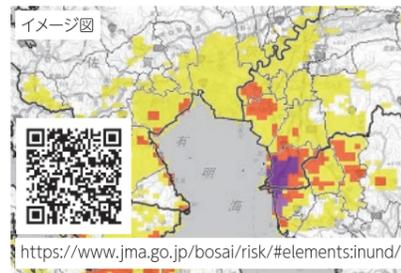
土砂キキクル 大雨警報(土砂災害)の危険度分布



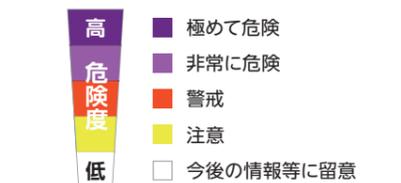
紫：崖・溪流の近くは危険



浸水キキクル 大雨警報(浸水害)の危険度分布



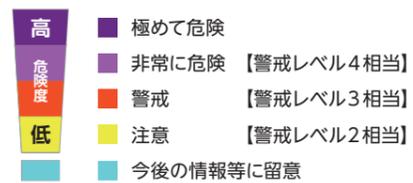
紫：低地は危険



洪水キキクル 洪水警報の危険度分布



紫：河川沿いは危険



※使用している携帯電話・アプリケーションによっては二次元バーコードの読み取りができない場合があります。(ページ内の図表は内閣府・気象庁ホームページより抜粋、編集)

土砂災害警戒情報について

大雨警報の発表中に、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、都道府県と気象台から共同で発表されます。詳細な範囲については「危険度分布」で確認できます。しかし、特に警戒区域周辺にお住まいの方は、実際の周囲の状況や雨の降り方にも注意し、土砂災害警戒情報が発表されていなくても、危険を感じたら、迷わず自主避難を行きましょう。



記録的短時間大雨情報について

大雨警報の発表中に、数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨が観測された時に、気象台から発表される情報です。この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。実際にどこで災害発生危険度が高まっているかを「危険度分布」も合わせて確認してください。

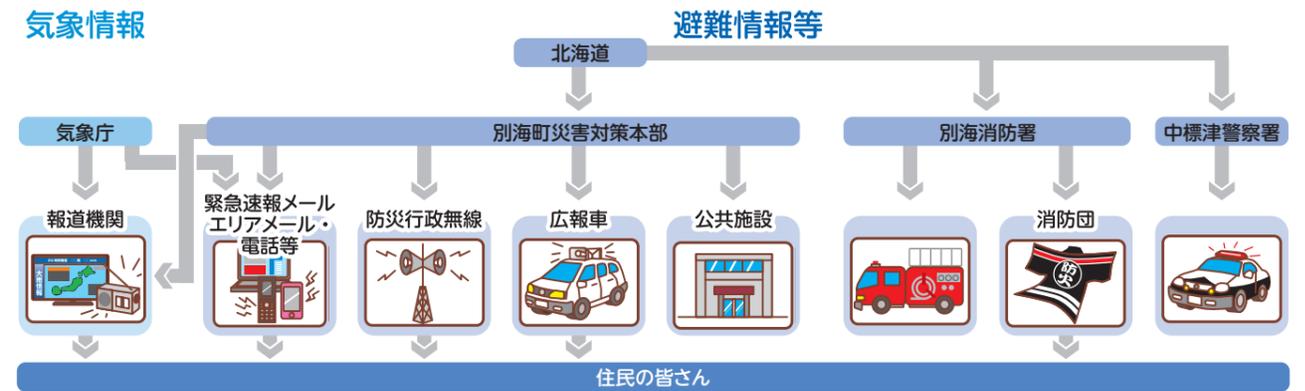


避難行動ガイド

- 警戒レベル3 高齢者等避難や警戒レベル4 避難指示が出たら、危険な場所から避難しましょう。
- 避難とは難を避けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は小中学校・公民館ではありません。安全な親戚・知人宅などに避難することも考えてみましょう。

i 防災情報の伝達と入手

防災情報の伝達



防災情報の入手

- くらしの安全情報**
 - 避難指示などの発令情報
 - 避難所開設情報
 - 各種災害情報
- 緊急速報メールを導入しています!**

町では災害発生時の情報伝達手段として、NTTドコモ、au、ソフトバンク各社が提供している緊急速報メールサービスを導入しています。このサービスは、町内にある各社の携帯電話端末に対して、緊急時に回線混雑の影響を受けず、気象庁が配信する緊急地震速報や町が配信する災害・避難情報を、町民の方や、別海町に来られている方にも情報を提供するものです。対応していない端末や、受信設定の有無については、各社ショップまたはホームページにてご確認ください。なお、このサービスにかかる通信料や情報料などは無料です。
- 行政無線放送内容確認ダイヤル**

防災行政無線で放送された内容を確認したい時、電話で最新の放送内容を聞くことができます。放送内容が分からなかったり、もう一度聞きたい場合にご利用ください。
Tel. 0153-75-3500 ※フリーダイヤルではありません。通常の通話料がかかります。

- 気象の情報**
 - 気象情報・注意報
 - 台風・洪水・土砂災害などの防災気象情報
- 土砂災害の情報**
 - 土砂災害警戒情報
- 水位の情報**
 - 雨量情報
 - ダム情報
 - 水防警報
 - 水位情報
 - 洪水予報
 - ライブカメラ
- テレビラジオ**

テレビのニュースや天気予報だけでなく、データ放送では、気象・情報や防災情報について常時放送されています。

災害の備え

洪水・土砂

地震・津波

指定避難所・指定緊急避難場所一覽

災害の備え

洪水・土砂

地震・津波

指定避難所・指定緊急避難場所一覽

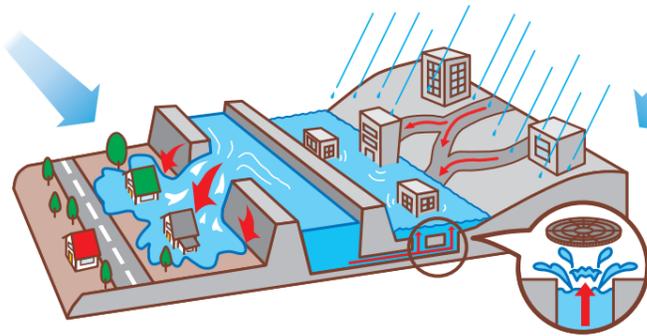


洪水・浸水害について

氾濫の種類

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

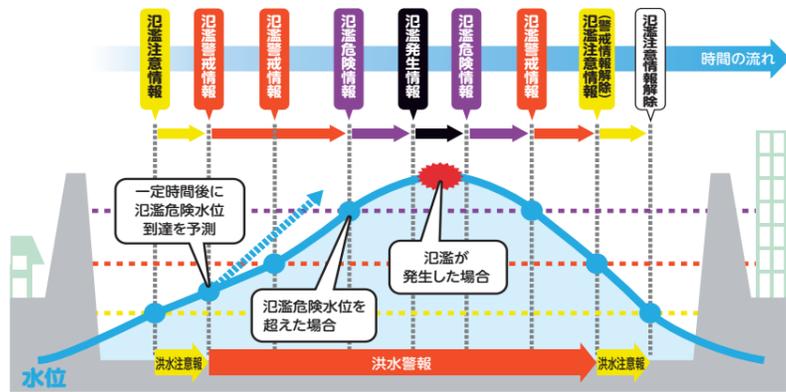
外水氾濫
大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を超える、あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増すため、最大の注意が必要。



内水氾濫
その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水は、けされず溜まって起きる洪水。的確なタイミングで警報や避難指示を出すのが難しいため、注意が必要。

河川の危険水位と洪水予報

河川ごとに設定された以下の危険水位に応じ、河川管理者と気象庁から洪水予報が発表されます。自治体はこの情報を目安にして、避難に関する情報を発令します。



| 河川名 | 西別川 | 西別川 |
|----------------|-------|-------|
| 観測所 | 西別川 | 中西別 |
| 氾濫危険水位(レベル4水位) | 23.14 | 40.65 |
| 避難判断水位(レベル3水位) | — | — |
| 氾濫注意水位(レベル2水位) | 21.62 | 39.28 |
| 水防団待機水位 | 20.28 | 37.75 |

(単位：m)

避難行動のポイント、危険な場所

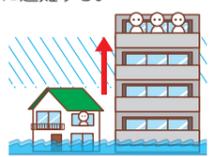
！ 浸水が始まる前に早めの避難を

氾濫水は勢いが強く、大人の膝程度の深さでも歩行が困難となる。浸水してから自宅外への避難は危険。気象予報や河川洪水予報などの情報をもとに、身の危険を感じたら自主的に避難を開始する。



！ 状況に応じた避難を

周囲の状況が危険で避難場所まで移動できない場合は、自宅や近隣の頑丈な建物のできるだけ高い階に避難する。移動途中であっても、危険を感じた場合は、近隣の建物のできるだけ高い階に避難する。



！ やむなく浸水の中を歩く際は

裸足、長靴は厳禁。水中で脱げづらい紐靴などが適している。また、氾濫水は濁っているため、水面下が確認できない。長い棒などを杖替わりとし、側溝やマンホール、障害物に注意する。



！ 川や用水路に近づかない

降雨が続き不安に思っても、川や用水路、田畑の用水は見に行かない。やむを得ない場合は複数人で行動する。河川の様子を確認は、自治体などのライブカメラ情報を活用する。また、避難の途中も増水した川の近くを通るのは避ける。



！ 地下室、地下街は危険

地下にいる場合、地上の様子が把握しづらく、避難経路が限定される。また、地上が冠水すると、一気に水が流れ込んでくる場合もある。停電の可能性も高く、脱出が困難となる。



！ アンダーパスは危険

道路や線路の下をくぐるアンダーパスや地下道は、洪水の際、真っ先に浸水する。場所を把握し、迂回路を想定しておく。



(ページ内の図表は気象庁ホームページより抜粋、編集)

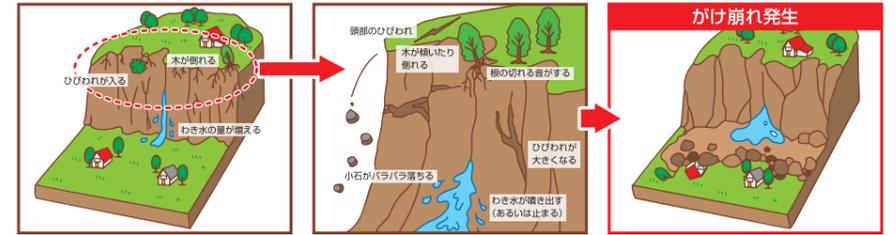


土砂災害について

土砂災害の種類

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを破壊させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土壌量が多いため、甚大な被害を及ぼします。また、一旦動き出すとこれを完全に停止させることは非常に困難です。



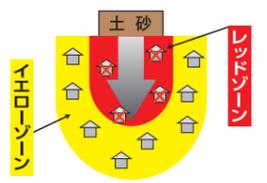
※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるといったものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

土砂災害の警戒区域

土砂災害防止法に基づき、都道府県は調査を実施し、土砂災害のおそれのある区域を以下の通り指定しています。

土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン) 建築物に破損が生じ、住民等に著しい危害が生じるおそれがある区域

土砂災害 警戒区域(イエローゾーン) 土砂災害のおそれがある区域



避難行動のポイント

土砂災害は突発性が高く、甚大な被害をもたらします。上記の前兆現象は、経験則として土砂災害発生の前に関われるものとして知られていますが、特に警戒区域内においては避難の猶予がほとんどないものと考え、「様子がおかしい」と感じたら、ただちに避難行動をとってください。

- 1 土砂災害警戒区域内、また指定が無くとも「谷の出口」や「がけの下」からは、いち早く退避する。
- 2 指定避難所までの移動が困難な際は、近隣の頑丈な建物の高層階へ避難する。
- 3 外出にも危険が伴う状況で、やむなく自宅に留まる場合は、2階以上の出来るだけ山側から離れた部屋に移動する。

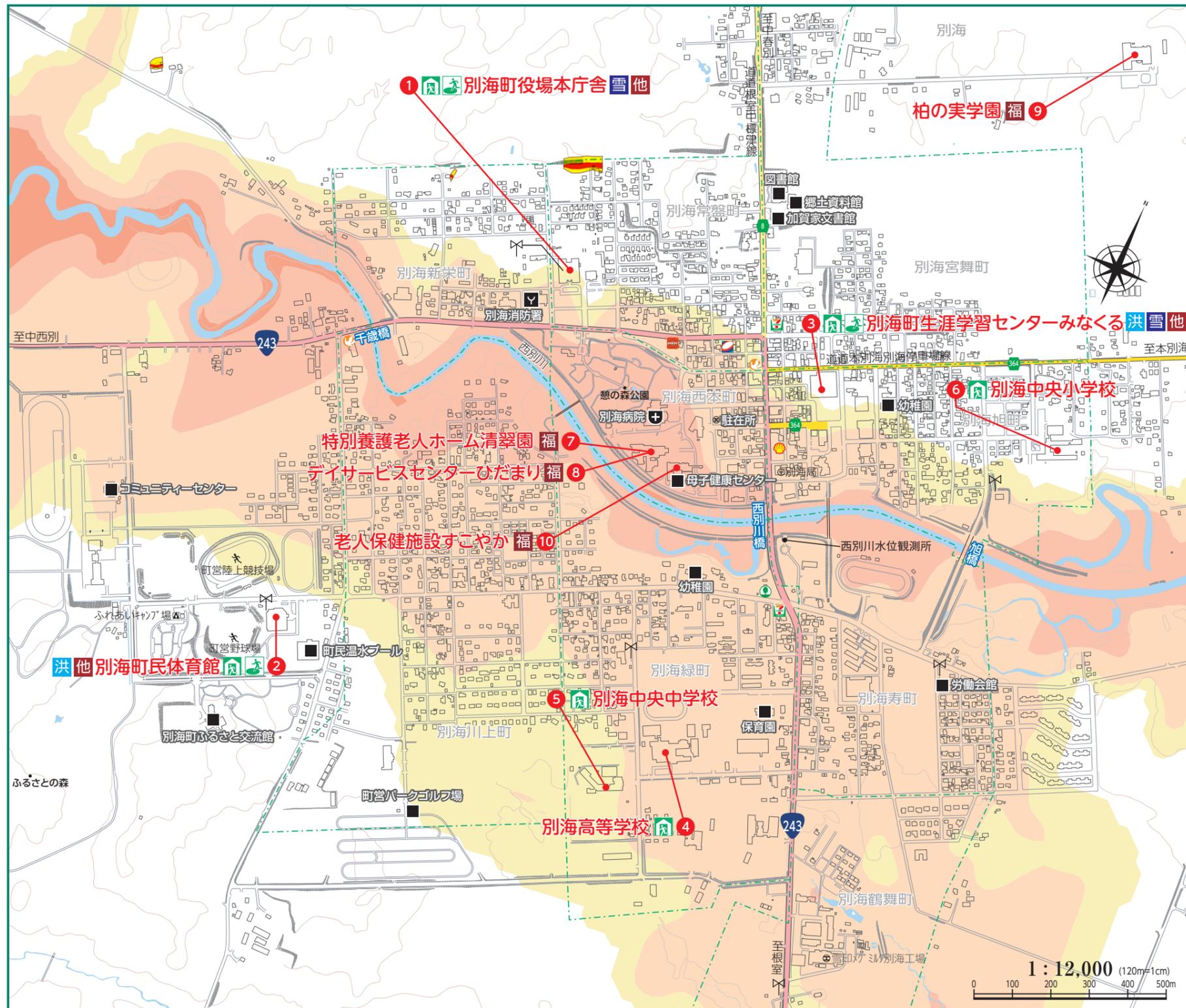
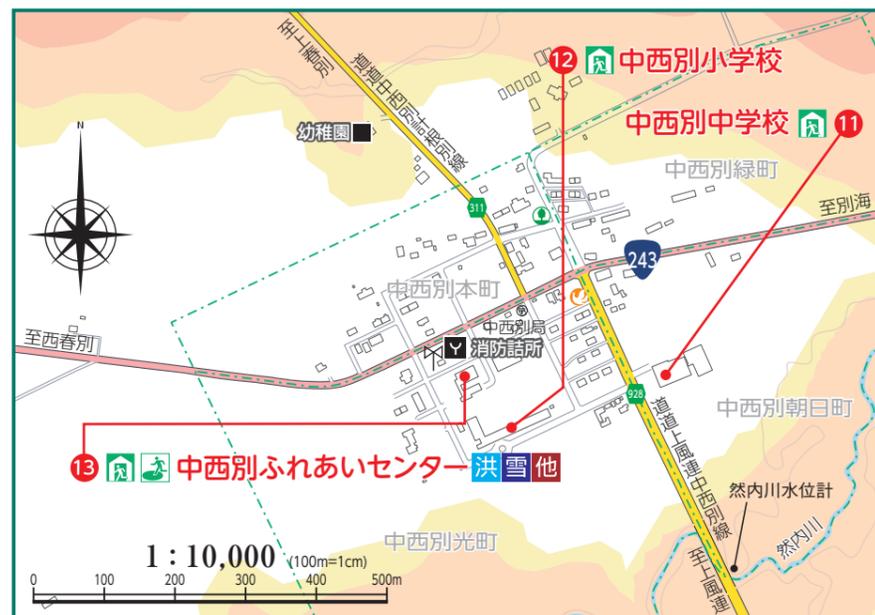


災害の備え

洪水・土砂

地震・津波

指定避難所・指定緊急避難場所



※このハザードマップに示した浸水範囲は、北海道から示された各河川流域での想定しうる最大規模の降雨量をもとに想定したものです。

【想定しうる最大規模の降雨量】
 春別川：6時間総雨量 261mm
 西別川：11時間総雨量 283mm
 然内川：5時間総雨量 252mm

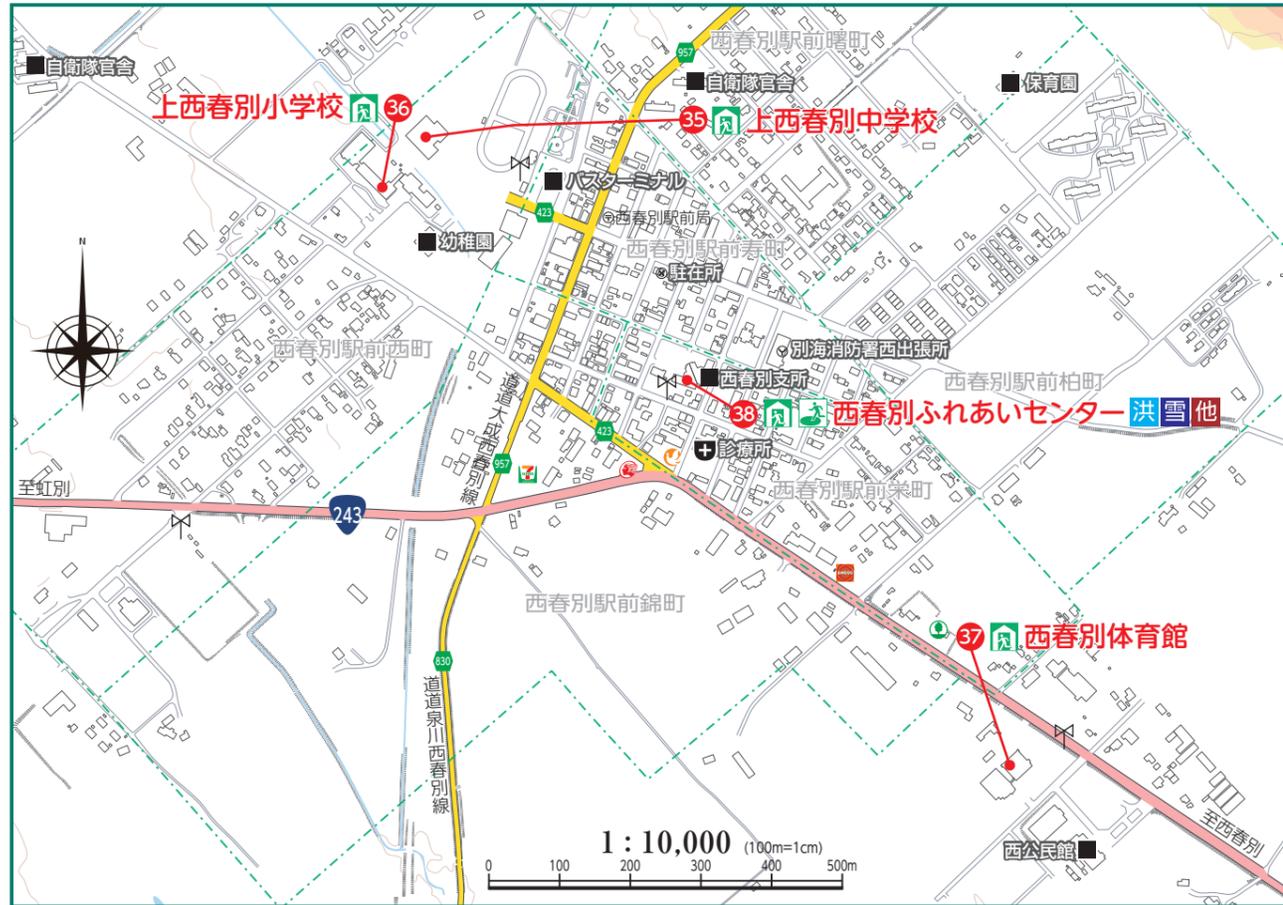
| | | | | |
|----------------|-------------------|----------------|--------------|----------------|
| 凡例 | 洪水浸水想定区域(想定最大規模) | 00 指定避難所 | 00 指定緊急避難場所 | 00 福祉避難所 |
| | 5.0m～10.0m未満の区域 | 洪 洪水時緊急避難場所 | 雪 暴風雪時緊急避難場所 | 他 その他災害時緊急避難場所 |
| | 3.0m～5.0m未満の区域 | 防災行政無線 屋外スピーカー | 字界 | |
| | 0.5m～3.0m未満の区域 | 00 国道 | 00 道道 | |
| 0.5m～3.0m未満の区域 | | | | |
| 0.5m未満の区域 | | | | |
| 土砂災害警戒区域 | 特別警戒区域 急傾斜地の崩壊 | | | |

災害の備え

洪水・土砂

地震・津波

指定避難所・指定緊急避難場所



※このハザードマップに示した浸水範囲は、北海道から示された各河川流域での想定しうる最大規模の降雨量をもとに想定したものです。
 【想定しうる最大規模の降雨量】
 西別川 : 11時間総雨量 283mm

| 凡 例 | |
|-----|-------------------|
| | 5.0m ~ 10.0m未満の区域 |
| | 3.0m ~ 5.0m未満の区域 |
| | 0.5m ~ 3.0m未満の区域 |
| | 0.5m未満の区域 |

| | | | |
|--|---------------|--|----------------|
| | 指定避難所 | | 指定緊急避難場所 |
| | 洪水時 緊急避難場所 | | 暴風雪時 緊急避難場所 |
| | その他災害時 緊急避難場所 | | 防災行政無線 屋外スピーカー |
| | 国道 | | 道道 |
| | 字界 | | |



【想定しうる最大規模の降雨量】
 春別川 : 6時間総雨量 261mm 西別川 : 11時間総雨量 283mm

※このハザードマップに示した浸水範囲は、北海道から示された各河川流域での想定しうる最大規模の降雨量をもとに想定したものです。

| 凡 例 | | | |
|-----|-------------------|--|----------------|
| | 5.0m ~ 10.0m未満の区域 | | |
| | 3.0m ~ 5.0m未満の区域 | | |
| | 0.5m ~ 3.0m未満の区域 | | |
| | 0.5m未満の区域 | | |
| | 指定避難所 | | 指定緊急避難場所 |
| | 津波時 緊急避難場所 | | 高潮時 緊急避難場所 |
| | 暴風雪時 緊急避難場所 | | その他災害時 緊急避難場所 |
| | 国道 | | 防災行政無線 屋外スピーカー |
| | 道道 | | 字界 |
| | 土砂災害警戒区域 | | 特別警戒区域 急傾斜地の崩壊 |

災害の備え

洪水・土砂

地震・津波

指定避難所・指定緊急避難場所一覧

災害の備え

洪水・土砂

地震・津波

指定避難所・指定緊急避難場所一覧



地震対策について

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

とにかく自分の身を守ろう!
地震だ! まず身の安全
大きな揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたら、姿勢を低くし、頭を守り、揺れがおさまるまで待ちましょう。

2~5分
しっかり火の始末で、火災防止!
大揺れがおさまった
台所やストーブなど火の始末をしましょう。避難の時は、電気のブレーカーを下ろし、ガスの元栓を閉めましょう。

5~10分
わが家の安全確認、確保!
火の始末のあと
家族の身の安全を確認、確保し、災害情報、避難情報を入手しましょう。また、避難可能な出口も確保しましょう。

10分~半日
隣近所の安否確認、助け合い!
外に出たあと
家の家具の下敷きになった人の救出や、消火活動を隣近所で協力して行いましょう。

半日~3日
2,3日は自分でしのぐ!
避難後、数日間
地震発生後の数日間は、水、食料に加え、電気などの供給が途絶えます。この間、日頃から、生活必需品(非常用品)を準備し、自分でしのげるようにしておきましょう。



屋内にいた場合

家の中

- 揺れを感じたら、頭を保護しながら大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる。あわてて外に飛び出さない。
- 火を使っている場合、その場で火を消せるときは火の始末、火元から離れているときは無理に火を消しに行かない。
- 乳幼児や病人、高齢者など要支援者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。

デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

劇場・ホール

- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。あわてずに冷静な行動をとる。

集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- 避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。



屋外にいた場合

路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などの安全な場所に避難する。
- 近くに空き地などがいないときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。

車を運転中

- ハンドルをしっかり握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要な時は、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

海岸付近

- 高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。

電車などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりとつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外に出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。



津波対策について

津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

| | 予想される津波の高さ | | とるべき行動 | 想定される被害 |
|-------|------------------------|----------------|---|---|
| | 数値での発表 (津波の高さ予想の区分) | 巨大地震の 場合の表現 | | |
| 大津波警報 | 10m超 (10m<予想高さ) | 巨大 | 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や津波避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。 | 木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。 |
| | 10m (5m<予想高さ≤10m) | | | |
| | 5m (3m<予想高さ≤5m) | | | |
| 津波警報 | 3m (1m<予想高さ≤3m) | 高い | ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう! | 標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。 |
| 津波注意報 | 1m (0.2m≤予想高さ≤1m) | (表記しない) | 海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。 | 海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し小型船舶が転覆する。 |

津波からの避難



※津波フラッグは避難の合図!!
津波警報等を知る手段に、令和2年夏より新しく『津波フラッグ』が加わりました。海水浴場や海岸付近で『津波フラッグ』を見かけたら、速やかに避難しましょう。

津波の特性と避難行動のポイント

水辺からすぐに離れる
津波注意報であっても水辺は危険。ただちに海岸や川べりから離れる。

津波の速度は速い
津波の速度は非常に早く、目に見えてから逃げるのでは間に合わない。

避難したら戻らない
到達予想時刻が過ぎたり、第一波が引いたとしても、津波警報・注意報が解除され安全が確認されるまでは避難を継続する。

津波は何度も来る
津波は一度だけでなく複数回襲来し、後から来る津波の方が高くなることもある。

津波は場所により高くなる
津波は沿岸に近づき水深が浅くなるほど、急激に高くなる。また、V字型の湾や岬の先端など、地形の影響で局所的に高くなる。

津波は遠くからも来る
津波は遠方の地震等によって発生することもある。日本近海の地震が伴わない津波警報・注意報にも注意する。

もしもの時のため、「津波標識」の確認を

津波の危険がある場所には、津波が襲う危険を示す「津波注意」標識や、避難場所、避難ビルを示す標識が設置されています。海の近くにいるときは、必ず避難経路と合わせて確認しておきましょう。



津波避難場所

津波避難ビル

津波注意

(ページ内の図表は気象庁ホームページより抜粋、編集)

災害の備え

洪水・土砂

地震・津波

指定避難所・指定緊急避難場所一覧

災害の備え

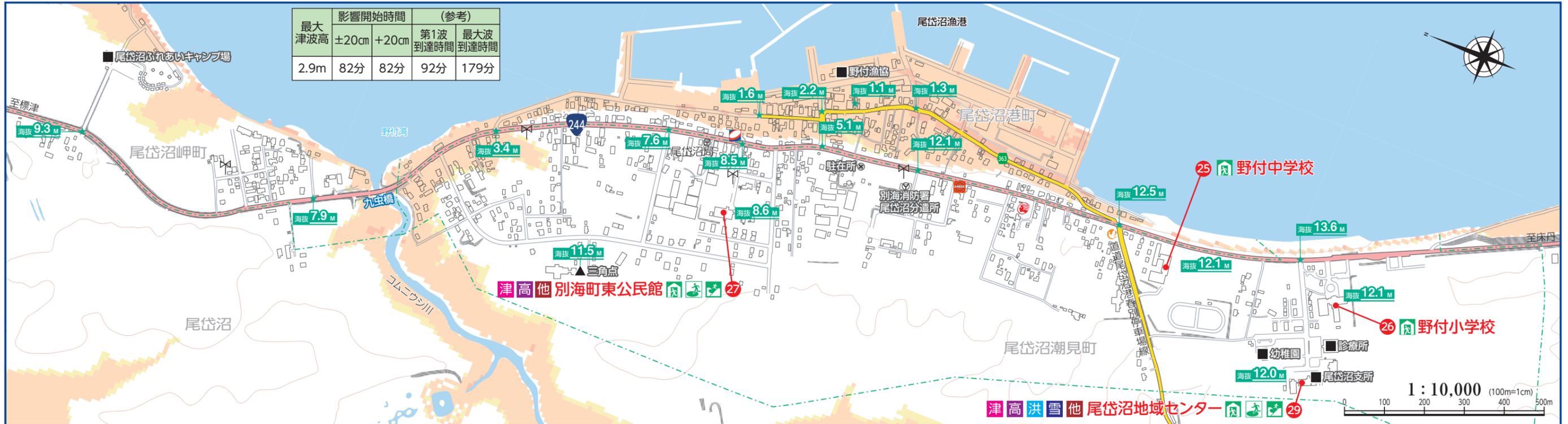
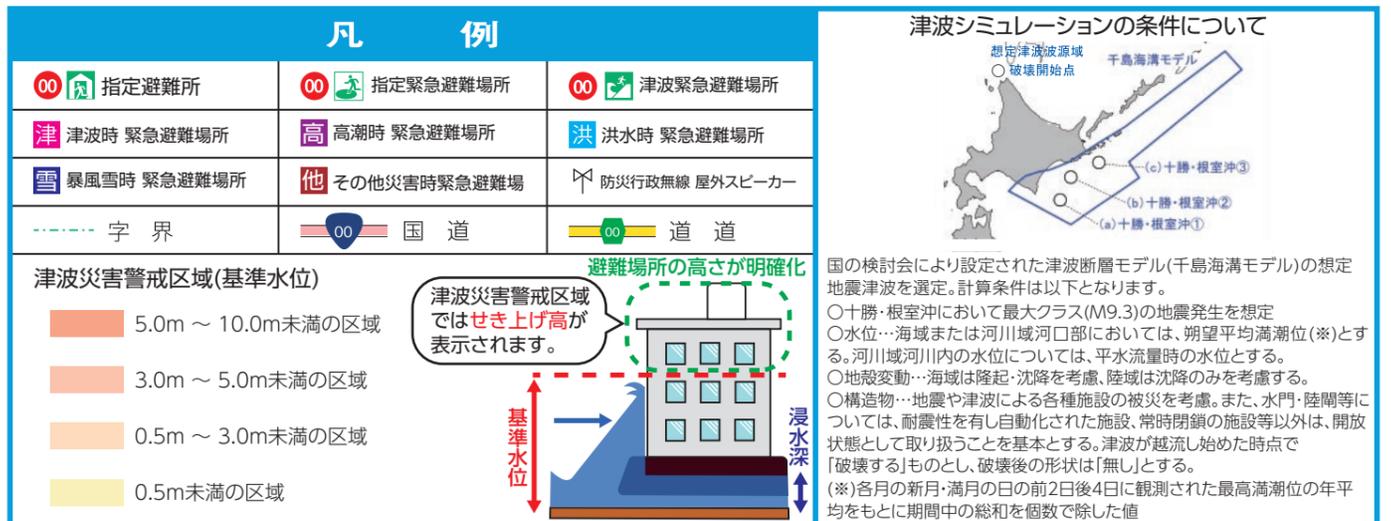
洪水・土砂

地震・津波

指定避難所・指定緊急避難場所一覧



※野付半島避難施設は、ピロティ構造であるため津波による浸水はありません。



床丹・本別海・走古丹市街

津波ハザードマップ

災害の備え

洪水・土砂

地震・津波

指定避難所・指定緊急避難場所一覧

災害の備え

洪水・土砂

地震・津波

指定避難所・指定緊急避難場所一覧



凡例

津波災害警戒区域(基準水位)

- 5.0m~10.0m未満の区域
- 3.0m~5.0m未満の区域
- 0.5m~3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

| | | |
|---------------|-----------------|-------------|
| 00 指定避難所 | 00 指定緊急避難場所 | 00 津波緊急避難場所 |
| 津 津波時緊急避難場所 | 高 高潮時緊急避難場所 | 洪 洪水時緊急避難場所 |
| 他 其他災害時緊急避難場所 | 防 防災行政無線屋外スピーカー | --- 字界 |
| 00 国道 | 00 道道 | |



※本別海地域防災センターは、ピロティ構造であるため津波による浸水はありません。



※走古丹地域防災センターは、ピロティ構造であるため津波による浸水はありません。

| 地区名 | No. | 避難所名 | 指定避難所 | | 指定緊急避難場所 | | | | | 住所 | 電話番号 |
|-----|-----|-----------------|-------|-------|----------|----|----|-----|-----|------------|---------|
| | | | 指定避難所 | 福祉避難所 | 津波 | 高潮 | 洪水 | 暴風雪 | その他 | | |
| 別海 | 1 | 別海町役場本庁舎 | ○ | | | | | | | 別海常盤町280番地 | 75-2111 |
| | 2 | 別海町民体育館 | ○ | | | | ○ | | | 別海141番地10 | 75-2882 |
| | 3 | 別海町生涯学習センターみなくる | ○ | | | | ○ | | | 別海旭町149番地1 | 75-2146 |
| | 4 | 別海高等学校 | ○ | | | | | | | 別海緑町70番地1 | 75-2053 |
| | 5 | 別海中央中学校 | ○ | | | | | | | 別海緑町116番地4 | 75-2251 |

| 地区名 | No. | 避難所名 | 指定避難所 | | 指定緊急避難場所 | | | | | 住所 | 電話番号 |
|-----------|-----|----------------|-------|-------|----------|------|------|------|------|---------------|---------|
| | | | 指定避難所 | 福祉避難所 | 津波 | 高潮 | 洪水 | 暴風雪 | その他 | | |
| 別海 | 6 | 別海中央小学校 | ○ | | | | | | | 別海旭町431番地1 | 75-2054 |
| | 7 | 特別養護老人ホーム清翠園 | | ○ | | | | | | 別海西本町52番地2 | 75-2224 |
| | 8 | デイサービスセンターひだまり | | ○ | | | | | | 別海西本町52番地2 | 75-0151 |
| | 9 | 柏の実学園 | | ○ | | | | | | 別海97番地9 | 79-5111 |
| | 10 | 老人保健施設すこやか | | ○ | | | | | | 別海西本町103番地3 | 75-3226 |
| 中西別 | 11 | 中西別中学校 | ○ | | | | | | | 中西別朝日14番地 | 75-6631 |
| | 12 | 中西別小学校 | ○ | | | | | | | 中西別光町48番地 | 75-6628 |
| 中春別 | 13 | 中西別ふれあいセンター | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | 中西別光町38番地1 | 75-6650 |
| | 14 | 中春別中学校 | ○ | | | | | | | 中春別南町17番地 | 76-2263 |
| | 15 | 中春別小学校 | ○ | | | | | | | 中春別西町34番地 | 76-2013 |
| 上春別 | 16 | 中春別ふれあいセンター | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | 中春別東町50番地 | 76-2354 |
| | 17 | 上春別中学校 | ○ | | | | | | | 上春別旭町30番地 | 75-6136 |
| | 18 | 上春別小学校 | ○ | | | | | | | 上春別123番地12 | 75-6364 |
| 本別海 | 19 | 上春別地域センター | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | 上春別栄町44番地 | 75-6651 |
| | 20 | 本別海地域防災センター | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | 本別海2番地155 | 75-8400 |
| 走古丹 | 21 | 走古丹地域防災センター | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | 走古丹1番地44 | 75-8102 |
| | 22 | 上風連中学校 | ○ | | | | | | | 上風連182番地3 | 75-7302 |
| 上風連 | 23 | 上風連小学校 | ○ | | | | | | | 上風連181番地4 | 75-7102 |
| | 24 | 上風連地域センター | ○ | | | | | ○ | ○ | 上風連174番地17 | 75-7163 |
| 尾岱沼 | 25 | 野付中学校 | ○ | | | | | | | 尾岱沼潮見町203番地 | 86-2019 |
| | 26 | 野付小学校 | ○ | | | | | | | 尾岱沼潮見町217番地 | 86-2013 |
| | 27 | 別海町東公民館 | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | 尾岱沼潮見町72番地 | 86-2141 |
| | 28 | 北方展望塔前駐車帯 | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | 尾岱沼5番地27 | 86-2449 |
| | 29 | 尾岱沼地域センター | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 尾岱沼潮見町213番地1 | 86-2445 |
| | 30 | 野付半島避難施設 | ○ | | ○ | ○ | | | | 野付100番地1 | |
| 床丹 | 31 | 床丹地域防災センター | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | 床丹4番地46 | 86-2199 |
| | 32 | 床丹墓地 | ○ | | ○ | ○ | | | | 床丹4番地11 | |
| | 33 | 水口宅裏町有林 | ○ | | ○ | ○ | | | | 床丹4番地1 | |
| | 34 | 菅原宅周辺 | ○ | | ○ | ○ | | | | 床丹4番地147 | |
| 西春別駅前 | 35 | 上西春別中学校 | ○ | | | | | | | 西春別駅前西町270番地1 | 77-2374 |
| | 36 | 上西春別小学校 | ○ | | | | | | | 西春別駅前西町2番地 | 77-2050 |
| | 37 | 西春別体育館 | ○ | | | | | | | 西春別95番地53 | 77-2800 |
| 西春別 | 38 | 西春別ふれあいセンター | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | 西春別駅前栄町28番地 | 77-2131 |
| | 39 | 西春別中学校 | ○ | | | | | | | 西春別本久町1番地 | 77-2061 |
| | 40 | 西春別小学校 | ○ | | | | | | | 西春別宮園町50番地 | 77-2364 |
| | 41 | 西春別地域センターみらい館 | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | 西春別宮園町73番地 | 77-2531 |
| | 42 | 西春別公共駐車場 | ○ | | | | | | ○ | 西春別321番地46 | |
| 合計(42ヶ所中) | | | 32ヶ所 | 4ヶ所 | 10ヶ所 | 10ヶ所 | 10ヶ所 | 11ヶ所 | 14ヶ所 | | |



備蓄品および非常持ち出し品

避難するときに最初に持ち出すのが「非常持ち出し品」。

災害直後から混乱が収まるまでの数日間、自給自足するための物資が「備蓄品」です。

以下は一例です。とくに非常持ち出し品は、持って逃げられる量にしましょう。(男性15kg 女性10kgが目安)

非常持ち出し品

とっさの場合に持ち出せるようにリュックサックにつめておきたい

貴重品

- 現金 ※公衆電話用に硬貨も
- 印鑑
- 家や車の予備鍵
- 証書類
(健康保険証、免許証、通帳、保険証書、
権利書、マイナンバーカードなど)

情報収集用品

- 携帯ラジオ ※予備電池も
- 携帯電話(スマートフォン)の充電器
- モバイルバッテリー ※ライト付きが便利
- 筆記用具

非常飲食品など

- 非常食 ※軽く高カロリーのもの
- 飲料水
- 給水袋
- 万能ナイフ

衛生用品

- 救急セット ※常備薬も
- タオル 消毒液
- マスク 体温計
- トイレ用ペーパー
- ウェットティッシュ
- ビニール袋
- 下着類
- 紙おむつ
- 生理用品

安全用品

- 懐中電灯 ※予備電池も
- ヘルメット 防災ずきん
- 軍手
- 上履き又はスリッパ
- 笛やブザー ※居場所を知らせるもの
- マッチ ライター
- 毛布 保温シート
- 使い捨てカイロ



備蓄品

少なくとも3日(できれば1週間)は自力で生活できるように準備

- 飲料水 ※1人1日3ℓ
- 食品 ※アルファ化米、長期保存食品など専用品の他、
下記ローリングストックの活用を
- 給水用ポリタンク バケツ
- カセットコンロ ガスボンベ
- 使い捨ての食器類
- 食品用ラップ
- ランタン
- 災害用トイレセット
- からだ拭きシート
- 水のいらないシャンプー
- ガムテープ
- ビニールシート



上記リストを参考に、特に乳幼児用品、高齢者用品等、災害時に配慮すべき方の用品も、家族構成に合わせて追加しましょう。

定期的に点検を!

いざというときに支障がないように食品類の賞味期限や
持出用品の不備を定期的に点検しましょう。

ローリングストックについて

備蓄専用の保存食なども大切ですが、
普段から少し多めに食料品や日用品を買っておき、
使った分だけ新しく買い足していくことで、
常に一定量の備蓄を自宅に確保しておくことを
ローリングストックと言います。
日常生活の中に、非常備蓄を上手に組み込みましょう。

—対象品目の例—

- ペットボトルの水や飲み物、レトルト食品、
- インスタント食品、お菓子、乾麺、缶詰、乾物、漬物
- カセットコンロのガスボンベ、ウェットティッシュ、
- トイレ用ペーパー、食品用ラップ、ビニール袋、
- 乾電池、使い捨てカイロ

